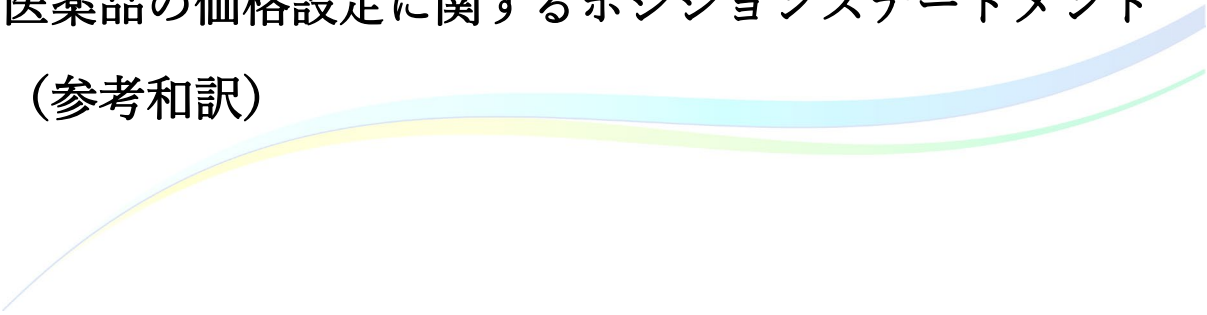


# Daiichi Sankyo Group Position Statement on Pricing

医薬品の価格設定に関するポジションステートメント  
(参考和訳)



## 背景

第一三共グループのパーパスは、「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」です。パーパスの実現には、アンメット・メディカル・ニーズや医療アクセス向上への取り組みが不可欠であることを私たちは認識しています。

明日の患者さんを救う新たな治療に向けた継続的な研究開発投資と、世界中の一人でも多くの患者さんに医薬品を届けるための医薬品アクセス向上の両面から、価格設定およびアクセスに関する多様な解決策を探求していきます。

## 医薬品\*の公正な価格について

医薬品の価格は、医薬品のアクセスに影響を及ぼす1つの要素ですが、公正な価格の設定方法は、各国の生活水準や医療制度によって異なります。WHOは、公正な価格を「医療システムや患者さんにとってアフォードブルな価格であり、同時に、製薬企業にとって研究開発や生産への投資のインセンティブを確保できる価格」と定義しており、私たちはこれを支持します。

私たちは、臨床的価値や技術の革新性に加えて、当該国の保健財政や患者さんの医薬品の入手しやすさ、ならびに患者数や罹患率など多くの要因を考慮し、各国における公正な価格の設定に向けて取り組んでいます。

また、私たちの一部の医薬品は、製造、規制および市場からの要求/状況変化により、時間の経過とともに価格が変動する可能性があります。製品価値や原価、さらに安定供給の確保を考慮しながら、常に、ディストリビューターへの出荷価格が適正であるように努めており、最終的に患者さんが支払う費用が公正かつ妥当なものであると信じています。

\* 第一三共グループが販売するすべての医薬品、ワクチン

## イノベーティブな新薬に対するアプローチ

私たちは、患者さんにとっての価値やアクセス等の重要な要素を反映した新薬の価格設定を目指しています。アプローチの1つである“Value based pricing”においては、革新性や社会にもたらす便益が適切に反映されるよう努めています。

他のアプローチも含め、価格設定にあたっては、患者さんのQOLの改善などのアウトカムだけでなく、アンメット・メディカル・ニーズ、競争環境、各国の規制、医薬品が社会にもたらす経済的な価値など、多くの要素を考慮しています。

また、発展途上国も含め、各国の医療制度や経済状況は国や患者さんによって異なることを認識しています。アフォーダブルな医薬品の価格と患者さんへのアクセスを確保するために、さまざまな医療システムを考慮したアクセスプログラムを開発していきます。

私たちは、保険者や政府、提携先等のステークホルダーと緊密に連携しながら、世界中の多くの患者さんへのアクセスを持続的に可能とするソリューションの創出に向けて取り組めます。

---

## Daiichi Sankyo Group

Nobuo Murakami

Head of Global Corporate Strategy

Issue Date: September 1st, 2020

Last Update: April 1st, 2026

